

石光真教授の御退職に寄せて

会津大学短期大学部産業情報学科長 井 波 純

石光真先生は1982年3月に東京大学法学部を卒業後、東北大学大学院経済学研究科に進学され、経済学修士を取得された後、後期博士課程を単位取得退学されました。その後、東北大学経済学部助手を経て、1992年4月に福島県立会津短期大学商科専任講師として着任されました。会津大学コンピュータ理工学部の創設に伴う会津短期大学・学科再編に関連して、1993年より会津大学短期大学部産業情報学科助教授となられ、2005年に同教授にご昇任されました。2006年の法人化により公立大学法人会津大学会津大学短期大学部教授になられた後、学生部長（4年間）、産業情報学科長（5年間）など数多くの重責を担われました。2018年4月に会津大学短期大学部長に就任されてからは、全国的な若年層の人口減少に伴う競争倍率の下降に対処すべく学科の垣根を超えて選抜されたメンバーで構成された入試改革ワーキンググループの設置（2019年4月）や、2019年末に端を発した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に的確に対応した授業展開や学内運営を実行されるなど、学部長としての職責を果たしてくださいました。

さらに、学会活動では、日本財政学会、公益事業学会に所属し、また東北経済学会では評議員を務められました。社会における活動に関しては、福島県や県内の各地方自治体における審議会や委員会等において、委員のほか、委員長や会長として、まちづくりや行政に関わる地域特有の事案に携わってこられました。そのほか、大学基準協会短期大学評価委員を務められ、学内外を問わず、精力的にご尽力されました。

研究者としての石光先生は、財政学・公益事業論を専門分野として、年金改革や電力問題をキーワードとした研究報告を行い、著書や研究論文などご研究成果を積み重ねてこられました。また、教育活動に関しては、日頃の授業やゼミナール活動において、いつも温かく、履修生やゼミ生ひとりひとりに対応した丁寧なご指導をされてこられました。教室外でも四年制大学への編入学試験対策として、専門である経済学に加え、英語のご指導もなされ、学生の学力向上に寄与されました。経営情報コース卒業生の編入学実績の背景に石光先生のご尽力があったことは疑う余地はないと存じております。

先生には定年退職後も非常勤講師として、本学産業情報学科のみならず、幼児教育学科や教養基礎科目の授業をご担当いただけると伺っております。これからも、精力的に教育活動や研究活動をお続けになられることと思いますが、ご自愛のうえ、ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

結びになりますが、石光先生の長年にわたるご功績に敬意を表しますとともに、本学における30年間のご貢献に心より感謝申し上げます。